

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		社会教育委員の会議開催事業		担当課 生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間 昭和31年度～
	施策	生涯学習の推進		種別 法定事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供		市民協働 企画立案への参画
予算科目コード		01-100401-04 単独	根拠法令・条例等	社会教育法 守谷市社会教育委員に関する条例

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
社会教育法第15条に基づき、社会教育行政に広く各方面の良識と経験を反映させるために昭和31年度に設置した。	学校教育関係者や社会教育関係者、学識経験者、家庭教育の向上に資する活動を行う方及び公募市民で構成した社会教育委員の優れた知見、知識や経験を社会教育行政に反映させ、市民の社会教育活動の活性化、学校・地域・家庭の連携協力における社会教育の推進を図る。 会議等の開催時には、出席委員に報酬及び費用弁償を支払う。 ＜主な議案・協議事項＞ ・社会教育関係事業及び予算について ・社会教育関係事業の評価、意見交換
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
社会教育に関する計画の立案等を協議し、教育委員会に助言するとともに、社会教育の諸問題について課題を解決し、市民の社会教育活動の活性化につなげる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が、生涯学習に自発的に参加できるよう、学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
・全体会議2回のほか、自主研修を実施し委員相互の情報共有を図る。 ・北相馬地区、県の社会教育振興協議会研修会等を活用し、近隣及び県内の社会教育委員との情報交換を通して、守谷の社会教育に関する課題や特徴を知り、今後の社会教育推進につながる提言を検討する。 ・委員定数を20人から15人に減員する。	・社会教育（生涯学習）事業の概要を知り、社会教育推進にかかる諸問題や解決が必要な課題の洗出しを行った。 ・守谷の社会教育の歴史を知るため、自主研修（先人との情報交換会）を行った。 ・委員定数を20人から15人に減員した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
会議の開催回数（全体会議・研修会等）（回）	5.00	3.00	5.00	5.00	5.00
提案・提言件数（件）	0.00	2.00	1.00	1.00	1.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	年2回の全体会議では課題の洗出しに時間が掛かり、解決策の検討までつながらなかったため、成果が停滞している。今後は、3年任期の中で、委員の多様な考え方や意見を生かし、社会教育の活性化を図るための提言書作成に取り組み、成果の向上を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	・委員からの意見や提言を参考に、事業改善や事業構築につなげる。 ・社会教育関係団体の構成員による組織であるため、委員同士の相互支援を行うことが可能であり、スポーツ活動、文化活動、地域活動など様々な分野をつなぐ取組ができる。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	482	233	406	404	406
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	482	233	406	404	406
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	195.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	800	0	0
トータルコスト		482	233	1,206	404	406

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		社会教育指導員事業		担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	昭和48年度～
	施策	生涯学習の推進		種別	任意的事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供		市民協働	
予算科目コード	01-100401-05 単独		根拠法令・条例等	守谷市社会教育指導員規則	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
昭和46年社会教育審議会の答申により、社会教育指導体制が弱体であるとし、文科省が47年度以降市町村に配置するようになり、守谷市も昭和48年度から配置に係る補助を受けて社会教育指導員を配置した。平成19年度以降、補助制度は廃止となったが、市独自の施策として社会教育指導員規則を制定し配置している。	社会教育指導員の事業は、家庭教育の推進が主な業務であり、家庭教育を学ぼうとする大人（保護者）に対して学習の機会、子育てに関する悩み等を解消するために家庭教育講座を開催する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか） ・社会教育活動の知識や経験のある社会教育指導員を配置し、家庭での子育てに関する悩みの解消、生涯学習・家庭教育に必要な知識、技能を学習してもらう。 ・放課後子ども総合プランがスムーズに運営できるよう推進する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が、生涯学習に自発的に参加できるよう、学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）		具体的内容とスケジュール	
改善内容（課題解決に向けた解決策）			
次年度のコストの方向性（→その理由）			
☐増加 ☐維持 ☐削減			

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
保幼小中高一貫教育関連の家庭教育講座を市内小中学校の協力で開催し、講座内容にも工夫がされ、参加者の保護者の不安の解消や学校への期待などを知ることができた。	昨年に引き続き、保幼小中高一貫教育関連の家庭教育講座の開催はもちろんのこと、より多くの参加者（保護者）が興味も持ってもらえる内容の講座を開催した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
家庭教育講座開催数	6.00	9.00	11.00	11.00	11.00
家庭教育講座参加者数	189.00	408.00	403.00	400.00	420.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	家庭教育を学ぼうとする保護者に対して学習の機会，子育てに関する悩みなどの解消の一助となる指導等を行うことで向上している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 □維持	■改善・効率化 □統合 □廃止・終了	家庭教育事業の推進のために，講話，参加型講座，家庭教育講演会を開催していく。 講座内容によっては，参加者の偏りがあるため，内容を検討し更に充実した講座が開催できるようにする。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	2,565	2,545	2,590	2,605	2,605
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,565	2,545	2,590	2,605	2,605
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	53.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	217	0	0
トータルコスト		2,565	2,545	2,807	2,605	2,605

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		市PTA連絡協議会支援事業		担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	昭和30年度～
	施策	生涯学習の推進		種別	任意の事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供		市民協働	補助事業
予算科目コード		01-100401-09 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
各学校間のPTAの連携を図るために、昭和30年代にPTA連絡協議会活動が開始された。	定例会、研修会、校外指導等を行うに当たり補助を行う。指導者研修会は、PTA活動に関する課題解決や子育てに必要なスキル向上等、保護者のニーズを考慮した講演会を開催し、指導者の育成を図る。 平成28年度活動内容 ・校外指導及び巡視 ・定例会 ・PTA指導者研修会 ・PTA親睦球技大会 ・児童、生徒の見守り活動「753運動」の実施
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
研修会等を開催し、教育効果の向上と学校と家庭の連携を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が、生涯学習に自発的に参加できるよう、学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
・単位PTAの活動や取組について情報交換をし、市P連の活動の活性化を図る。 ・いばらき教育の日キャンペーン等、児童・生徒との合同活動に取り組む。	市P連定例会でを通して、単位PTAの取組、活動時の問題点や課題などを共有し、市P連全体で改善策を見出した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
定例会，研修会，校外指導の実施数（回）	23.00	23.00	23.00	23.00	23.00
参加した会員数（人）	500.00	650.00	660.00	660.00	780.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	主に，単位PTA本部役員向けの研修（リーダー育成研修）の実施となるため，成果の向上は見込めないが，家庭・学校・地域をつなぐ重要な担い手となる組織のため，継続して支援し，成果の維持を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	単位PTAの活動がスムーズに行われ，取組に関しても工夫されている。 市P連全体で連携を図り，役員だけでなく一般会員が興味を持って参加できる研修の実施や教育活動に取り組む。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	112	164	154	154	154
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	112	164	154	154	154
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		112	164	154	154	154

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		タベのコンサート事業		担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	平成 8年度～
	施策	生涯学習の推進		種別	任意的事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供		市民協働	実行委員会
予算科目コード		01-100401-10 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成8年当時、転入者が多く、まちに馴染みのない住民が多くいることから、町長から庁舎を活用したイベントの開催が提案され、市役所各課からアイデアを募集したところ、中庭やロビーを活用したコンサートの開催が採用された。	8月の土曜日の夕方（18時からおおむね21時）に、合計3回コンサートを開催する。舞台の設営や音響・照明は業者に委託するが、当日の受付や舞台配置などは、出演サークルが当番で行っている。 また、市内在住や市出身などのプロが、各回1組出演する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民が日常的に芸術に親しみ、生きがいや楽しみを持って生活を送ることで、市に愛着を持ってもらう。（定住意欲を促進する）。 また、庁舎で開催することで、行政を身近に感じてもらい市に愛着を持ってもらう。さらにはプロと同じステージに出つことで、音楽サークルの活動意欲の向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が、生涯学習に自発的に参加できるよう、学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
観客数・出演団体数ともに減少していることから、運営方法を見直す。	4回開催から3回開催に変更し、業者委託料及び職員人件費の削減を図る。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
出演団体数（組）	17.00	16.00	15.00	16.00	16.00
来場者数（人）	844.00	799.00	549.00	750.00	750.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	予想以上に観客数が減少した。これは、開催日数を1日減らしたことに加え、天気が不安定な日が多かった（3日のうち2日）ためと思われる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	来場者のアンケート結果ではリピーターが多く、毎年楽しみにしている方は確実にいる。 また、タベのコンサートに出演することを目標として練習に励んでいる出演団体もある。守谷の音楽文化を支えるうえで、継続して実施するのが望ましい。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	1,265	1,363	1,341	1,394	1,394
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1,394	0
	一般財源	1,265	1,363	1,341	0	1,394
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	408.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,673	0	0
トータルコスト		1,265	1,363	3,014	1,394	1,394

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		もりや学びの里施設維持管理事業		担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	平成 8年度～
	施策	生涯学習の推進		種別	任意的事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供		市民協働	
予算科目コード		01-100401-11 単独	根拠法令・条例等	もりや学びの里設置及び管理に関する条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
旧大井沢小学校の廃校に伴い、その跡地を新たに生涯学習施設として利用することにより、平成8年度に「もりや学びの里」を開設した。	廃校施設を市民の学習施設としてサークル活動，研修等に活用し，より快適な利用に供するため，設備，機械等の管理及び保守点検を実施する。 〔主要施設〕体育館/和室/講座研修室/音楽室/調理室/創作工芸室/バーベキュー施設 〔主な施設管理業務〕建物清掃/自家用電気設備保安管理/自動ドア保守点検/体育器具点検/消防施設点検/植栽管理/施設管理等
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
世代を超えて利用できるコミュニティ施設として，市民が安全で快適な学習や趣味活動ができる環境を整え，社会教育活動の充実及び推進を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が，生涯学習に自発的に参加できるよう，学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
施設が古く不便な点もあるが、施設への要望や修繕を素早く対応することで、利用者からの評価を向上することができる。	施設・設備の不具合による修繕を行った。 [内容]電気スイッチ修繕、陶芸窯修繕、漏電調査及び照明器具修繕、火災報知器設備交換、変圧器絶縁油浄化剤投入、非常灯修繕、窓ガラス修繕

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
延べ利用者数（人）	33,090.00	26,430.00	29,208.00	30,000.00	30,000.00
施設の改善（修繕）件数（件）	9.00	7.00	8.00	8.00	8.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	国体実行委員会事務局，適応指導教室，アークスタジアムが共用する複合施設となっているため，多くの市民が訪れる。また，陶芸窯や防音設備の整った音楽活動室，体育館，バーベキュー施設など他の施設にはない設備があり，市民の学習，趣味や余暇活動の場として，多くの団体・サークルに活用されている。 今後も適切な施設の維持・管理を行い，サークル活動の支援と学習機会・場の提供を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	利用者が安心・安全で快適に学習活動ができるよう，適切な施設整備を行う。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	12,280	15,527	12,495	13,913	13,913
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	747	717	811	795	795
	一般財源	11,533	14,810	11,684	13,118	13,118
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	230.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	943	0	0
トータルコスト		12,280	15,527	13,438	13,913	13,913

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		子ども会育成補助事業		担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	昭和31年度～
	施策	生涯学習の推進		種別	任意の事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供		市民協働	補助事業
予算科目コード		01-100401-13 補助	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
子どもの健全育成に効果があると判断され、昭和31年に守谷市（当時守谷町）子ども会育成連合会が結成された。	守谷市子ども会育成連合会が実施する事業のための会場提供，広報掲載，事業参加募集受付，運営補助等の支援及び補助金交付を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
子ども会活動を通し，子どもたちに集団活動のルールなどを身につけさせることができ，また，育成者（保護者）の関心を高め，「市民による健全育成活動の推進」に貢献する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が，生涯学習に自発的に参加できるよう，学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☐維持 ☐削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
守子連役員で「もりこれんの活動」と題した報告書を作成し、総会時に単位子ども会出席者に資料として配布した。 また、市役所窓口と担当課窓口にも配架し、守子連の活動PRをした。	今年度末にも、2地区の単位子ども会が守子連から脱退した。子ども会が成り立たない人数にまで子どもが少ない地区である。しかし、今年度も守子連事業に当番制で単位子ども会の育成者（保護者）に参加してもらうことで、活発な意見交換ができ、活性化に努めた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
守子連登録子ども会数（団体）	35.00	36.00	34.00	32.00	32.00
守子連主催事業数（回）	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	守子連登録の単位子ども会の減少が続いているため、成果の向上は見込めないが、本事業は、子どもを主体とした単位子ども会を支援する組織のため、成果の維持を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☒ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	守子連登録の子ども会組織が減少しつつある中、事業規模を縮小しつつも継続的に行う。また、守子連に加盟していな子ども会への加入促進も積極的に引き続き実施していく。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	286	240	234	231	231
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	286	240	234	231	231
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	406.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,665	0	0
トータルコスト		286	240	1,899	231	231

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		成人式事業	担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	昭和39年度～
	施策	生涯学習の推進	種別	任意の事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供	市民協働	実行委員会
予算科目コード		01-100401-22 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
国民的な行事で、多くの自治体で実施されていることから守谷市も昭和39年度から実施している。	新成人者で運営協力委員会を組織して、成人式の運営や準備を行政と協働で進める。 [実施日] 平成30年1月7日（日）実施予定 [該当者] 平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれの方 参考：平成29年成人式典 該当者数681人，内出席者数501人
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
新成人者を対象に，人生の節目を記念して成人式を実施し，次代の担い手として今後の活躍を願い祝福する。新成人による運営委員会を組織し，成人式典を開催する。祝福を受けることで，成人としての自覚を持ってもらう。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が，生涯学習に自発的に参加できるよう，学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
各中学校への運営協力員推薦依頼時に対象要件の拡大を図る。（生徒会役員・部活動主将など。） 運営協力員募集の際に、広報やホームページに加えて、SNSを活用する。	各中学校への運営協力員推薦依頼時に対象要件の拡大を図り、多数の協力を得ることができたので、引き続き次年度以降も依頼したい。 運営協力員募集では、運営協力員同志のつながりでSNSを活用して協力を得ることができた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
新成人に対する参加者の割合（％）	70.00	75.00	73.56	70.00	70.00
式典参加者数（人）	473.00	505.00	501.00	493.00	493.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	既に、毎年約7割の参加率があり、恒例的な催事であることから、現在以上の成果向上の余地はない。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	守谷市を担っていく市民として、若者の成人を祝う大事な式であり、同時に成人としての自覚を持っていただく事業であり事業を継続していく。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	715	714	666	804	804
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	715	714	666	804	804
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	368.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,509	0	0
トータルコスト		715	714	2,175	804	804

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		中央公民館運営管理事業		担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	昭和56年度～
	施策	生涯学習の推進		種別	任意的事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供		市民協働	
予算科目コード		01-100404-01 単独	根拠法令・条例等	守谷市立公民館の設置及び管理に関する条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民にコミュニケーション及び生涯学習の場を提供するため、昭和56年に中央公民館が開館した。	市民サービスの向上を図るために、平成24年度から指定管理者による運営を開始した。 [指定管理者] アクティオ株式会社・守谷市シルバー人材センター共同事業体 [今期指定期間] 平成27年4月1日～平成32年3月31日 5年間 [指定事業] 各館年間10講座以上、公民館まつり1回 [自主事業] 指定管理者の自己の責任と費用により、実施することができる事業
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
・利用者が安全で快適な学習活動ができる場所を提供する。 ・指定管理者による管理・運営により、市民ニーズに効果的、効率的に対応し、民間の能力活用とサービス向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が、生涯学習に自発的に参加できるよう、学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
老朽化している施設について、長期的な計画を立て、優先順位を付けて修繕する。	・設備の不具合を定期的に聴取し、計画的な修繕を行った。 【主な修繕】 冷凍機圧力スイッチ修繕，トイレ配管修繕，自家用発電設備部品交換，舞台照明設備直調スイッチ盤内配線交換，照明器具安定器交換 ・指定管理者が自己の責任と費用により行う「自主事業」で，時宜にかなった講座・教室を設定することにより稼働率の向上を図った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
延べ利用者数（人）	77,160.00	81,648.00	84,066.00	84,500.00	85,000.00
施設の改善（修繕）件数（件）	10.00	6.00	7.00	7.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	指定管理者（民間）のノウハウだけではなく、運営協力員が企画した講座を取り入れ、講座参加者が増えるなど成果が向上している。 今後も、地域住民が気軽に来館できるような自主事業を計画することにより、更なる来館者増が見込まれる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	・ 指定管理者と公民館運営協力員、サークル代表者、地域住民が連携・協力して講座、イベント等を作り上げる体制を継続させる。 ・ 老朽化している施設を計画的に修繕する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	56,215	54,288	57,351	124,815	117,125
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	672	677	548	8,237	547
	一般財源	55,543	53,611	56,803	116,578	116,578
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	217.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	890	0	0
トータルコスト		56,215	54,288	58,241	124,815	117,125

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		郷州公民館運営管理事業		担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	平成 4年度～
	施策	生涯学習の推進		種別	任意的事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供		市民協働	
予算科目コード		01-100404-02 単独	根拠法令・条例等	守谷市立公民館の設置及び管理に関する条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民にコミュニケーション及び生涯学習の場を提供するため、平成4年に郷州公民館が開館した。	市民サービスの向上を図るために、平成24年度から指定管理者による運営を開始した。 [指定管理者] アクティオ株式会社・守谷市シルバー人材センター共同事業体 [今期指定期間] 平成27年4月1日～平成32年3月31日 5年間 [指定事業] 各館年間10講座以上、公民館まつり1回 [自主事業] 指定管理者の自己の責任と費用により、実施することができる事業
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
・利用者が安全で快適な学習活動ができる場所を提供する。 ・指定管理者による管理・運営により、市民ニーズに効果的、効率的に対応し、民間の能力活用とサービス向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が、生涯学習に自発的に参加できるよう、学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
老朽化している施設について、長期的に計画を立て、優先順位を付けて修繕する。	- 設備の不具合を定期的に聴取し、計画的な修繕を行った。 【主な修繕】 - 電話機交換，照明器具安定器交換，集会室前廊下フローリング張替，集会室鏡交換 - 指定管理者が自己の責任と費用により行う「自主事業」で，時宜にかなった講座・教室を設定することにより稼働率の向上を図った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
延べ利用者数（人）	64, 463. 00	64, 933. 00	0. 00	0. 00	0. 00
施設の改善（修繕）件数（件）	1. 00	6. 00	5. 00	5. 00	3. 00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	指定管理者（民間）のノウハウだけではなく、運営協力員が企画した講座を取り入れるなど、講座参加者が増えるなど成果が向上している。 今後も、地域住民が気軽に来館できるような自主事業を計画することにより、更なる来館者増が見込まれる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	・ 指定管理者と公民館運営協力員、サークル代表者、地域住民が連携・協力して講座、イベント等を作り上げる体制を継続させる。 ・ 老朽化している施設を計画的に修繕する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	16,828	19,148	17,303	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	16,828	19,148	17,303	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	119.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	488	0	0
トータルコスト		16,828	19,148	17,791	0	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		高野公民館運営管理事業		担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	平成 8年度～
	施策	生涯学習の推進		種別	任意的事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供		市民協働	
予算科目コード		01-100404-03 単独	根拠法令・条例等	守谷市立公民館の設置及び管理に関する条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民にコミュニケーション及び生涯学習の場を提供するため、平成8年に高野公民館が開館した。	市民サービスの向上を図るために、平成24年度から指定管理者による運営を開始した。 [指定管理者] アクティオ株式会社・守谷市シルバー人材センター共同事業体 [今期指定期間] 平成27年4月1日～平成32年3月31日 5年間 [指定事業] 各館年間10講座以上、公民館まつり1回 [自主事業] 指定管理者の自己の責任と費用により、実施することができる事業
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
・利用者が安全で快適な学習活動ができる場所を提供する。 ・指定管理者による管理・運営により、市民ニーズに効果的、効率的に対応し、民間の能力活用とサービス向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が、生涯学習に自発的に参加できるよう、学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
老朽化している施設について、長期的に計画を立て、優先順位を付けて修繕する。	・設備の不具合を定期的に聴取し、計画的な修繕を行った。 【主な修繕】 高圧気中開閉器交換，男子トイレ小便器交換，空調機修繕，照明器具安定器交換 ・指定管理者が自己の責任と費用により行う「自主事業」で，時宜にかなった講座・教室を設定することにより稼働率の向上を図った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
延べ利用者人数（人）	64, 463. 00	64, 933. 00	0. 00	0. 00	0. 00
施設の改善（修繕）件数（件）	3. 00	3. 00	5. 00	4. 00	3. 00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	指定管理者（民間）のノウハウだけではなく、運営協力員が企画した講座を取り入れるなど、講座参加者が増えるなど成果が向上している。 今後も、地域住民が気軽に来館できるような自主事業を計画することにより、更なる来館者増が見込まれる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	・ 指定管理者と公民館運営協力員、サークル代表者、地域住民が連携・協力して講座、イベント等を作り上げる体制を継続させる。 ・ 老朽化している施設を計画的に修繕する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	18,400	18,570	18,843	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	18,400	18,570	18,843	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	73.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	299	0	0
トータルコスト		18,400	18,570	19,142	0	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		北守谷公民館運営管理事業		担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	平成11年度～
	施策	生涯学習の推進		種別	任意的事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供		市民協働	
予算科目コード		01-100404-04 単独	根拠法令・条例等	守谷市立公民館の設置及び管理に関する条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民にコミュニケーション及び生涯学習の場を提供するため、平成11年に北守谷公民館が開館した。	市民サービスの向上を図るために、平成24年度から指定管理者による運営を開始した。 [指定管理者] アクティオ株式会社・守谷市シルバー人材センター共同事業体 [今期指定期間] 平成27年4月1日～平成32年3月31日 5年間 [指定事業] 各館年間10講座以上、公民館まつり1回 [自主事業] 指定管理者の自己の責任と費用により、実施することができる事業
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
・利用者が安全で快適な学習活動ができる場所を提供する。 ・指定管理者による管理・運営により、市民ニーズに効果的、効率的に対応し、民間の能力活用とサービス向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が、生涯学習に自発的に参加できるよう、学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
老朽化している施設を長期的に計画を立て優先順位を付けて修繕する。	・設備の不具合を定期的に聴取し、計画的な修繕を行った。 【主な修繕】 自動ドア修繕、空調機室外機基盤交換、エレベーター停電管制運転装置修繕、照明器具交換工事 ・指定管理者が自己の責任と費用により行う「自主事業」で、時宜にかなった講座・教室を設定することにより稼働率の向上を図った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
延べ利用者数（人）	64,463.00	64,933.00	0.00	0.00	0.00
施設の改善（修繕）件数（件）	3.00	3.00	5.00	3.00	3.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	指定管理者（民間）のノウハウだけではなく、運営協力員が企画した講座を取り入れるなど、講座参加者が増えるなど成果が向上している。 今後も、地域住民が気軽に来館できるような自主事業を計画することにより、更なる来館者増が見込まれる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	・指定管理者と公民館運営協力員、サークル代表者、地域住民が連携・協力して講座、イベント等を作り上げる体制を継続させる。 ・老朽化している施設を計画的に修繕する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	24,341	21,323	22,203	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	24,341	21,323	22,203	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	102.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	418	0	0
トータルコスト		24,341	21,323	22,621	0	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		大野地区公民館運営事業	担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	昭和33年度～
	施策	生涯学習の推進	種別	任意の事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供	市民協働	事業協力
予算科目コード		01-100404-07 単独	根拠法令・条例等	守谷市立公民館の設置及び管理に関する条例

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 地域住民の生涯学習の場として、公民館運営協力員の協力により、講座・教室・地域のイベントを行う。
市民にコミュニケーション及び生涯学習の場を提供するため、昭和33年に大野地区公民館が開館した。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
地域住民が生涯学習活動に参加する機会を設け、参加者の学習意欲の向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が、生涯学習に自発的に参加できるよう、学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
建物の老朽化や利用状況から、外部評価は、廃止とされた。 その結果を受け、大きな改修は行わず、建物が使用できる期間は事業を継続する。	運営協力員企画の講座・教室2件、大野ふれあいまつりを実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
開催教室・イベント数（件）	5.00	5.00	4.00	4.00	4.00
参加者数（人）	3,009.00	3,100.00	742.00	750.00	750.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	自主的サークルが発足するなど一定の成果向上はあるが、施設の規模や老朽化の問題もあり、これ以上の向上は見込めない。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	公民館運営協力員の企画により、参加者の受益者負担で講座・教室の実施を継続する。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	540	690	352	189	189
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	22	0	0	0
	一般財源	540	668	352	189	189
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	290.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,189	0	0
トータルコスト		540	690	1,541	189	189

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		図書館運営管理事業		担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	平成 7年度～
	施策	生涯学習の推進		種別	任意的事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供		市民協働	
予算科目コード	01-100405-01 単独		根拠法令・条例等	守谷市図書館等の設置及び管理に関する条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成7年5月に守谷中央図書館が開館し、事業を開始した。	市民の様々な学習要求に応えるため、指定管理者制度を導入して市民サービスを向上させるとともに、市民一人当たり500円を目安に図書資料費を確保し、幼児から成人までの市民の要望に応じた幅広い資料の収集に努める。 また、図書館ネットワークを活用した図書の貸出、返却、予約、リクエスト、レファレンスなど質の高いサービスの提供を行う。 [指定管理者] 図書館流通センター・常総ビル整美共同事業体 [今期指定期間] 平成28年4月1日～平成31年3月31日 3年間
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民の文化教養の向上を目指し、自由で公平な資料提供を中心とする図書館活動により、文化の発展に資する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が、生涯学習に自発的に参加できるよう、学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
一日平均貸出者864.5人、年間の市民一人当たりの平均貸出数が13.1冊と活発な利用がなされた。	指定管理者の運営となり、開館日数と時間の増加が図れた。それに伴い利用者数と貸出数も増加した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
蔵書数（点）	425, 097. 00	432, 558. 00	443, 362. 00	445, 000. 00	445, 000. 00
総貸出し数（点）	864, 539. 00	853, 194. 00	952, 042. 00	952, 000. 00	952, 000. 00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	平成28年4月1日から指定管理を導入し、年間343日開館、開館時間も9時から19時となったことで利用者にとって十分な利用環境となった。 一方、レファレンスなど専門性が必要とされるサービスの低下がみられた。今後は、外部機関が開催する研修会への参加、内部研修等によりスタッフの専門性の向上を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	市民一人当たりおよそ500円の資料費を維持することにより、市民の求める幅広い資料の収集に努める。 また、図書館ネットワークを活用した図書の貸出、返却、予約、リクエスト、レファレンスなど質の高いサービスの提供を行う。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	43,658	42,291	189,814	181,980	185,000
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	128	132	1	1	1
	一般財源	43,530	42,159	189,813	181,979	184,999
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	3,091.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	12,673	0	0
トータルコスト		43,658	42,291	202,487	181,980	185,000

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		図書館協議会開催事業		担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	平成 7年度～
	施策	生涯学習の推進		種別	法定事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供		市民協働	企画立案への参画
予算科目コード		01-100405-07 単独	根拠法令・条例等	図書館法 守谷市図書館協議会設置条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
守谷市立図書館の適正な運営を図るため、平成7年度に設置した。	年3回会議を開催し、図書館の運営全般について、利用者目線での意見などを聴き、図書館サービスの向上につなげる。 また、指定管理者による図書館運営のチェック機能を担う。 会議開催時には、出席委員に報酬及び費用弁償を支払う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
図書館の運営について、利用者及び関係団体の意見を伺い、より良い図書館運営に資する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が、生涯学習に自発的に参加できるよう、学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
年3回会議を開催し、図書館の活動状況、指定管理者制度導入に伴う確認事項等について審議した。 また、指定管理者決定後の会議では、受託者に今後の運営について確認や提言を行った。毎回会議において、委員の活発な発言がなされた。	年3回の会議に加え、委員の要望により勉強会（無報酬）を1回開催した。4月からの指定管理者制度の導入に伴い、上半期のサービス実績、図書館利用者アンケートの集計結果の報告を受け、提案や要望を示した。 また、教育委員会が策定する「第三次守谷市子ども読書活動計画（案）」について意見を求めた。出された要望に対して検討し、計画（案）の一部修正を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
図書館協議会委員数（人）	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
会議開催数（回）	7.00	5.00	4.00	3.00	3.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	既に活発な意見交換がなされ、必要事項は協議されている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	図書館法に基づき図書館が行う事業に対して意見を述べる組織として設置されており、今後も図書館事業に対して内容を審議し、助言や提言を行うことにより組織としての目的を果たしていく。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	321	138	139	184	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	321	138	139	184	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	244.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,000	0	0
トータルコスト		321	138	1,139	184	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		冒険遊び場活動支援事業		担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	平成26年度～平成28年度
	施策	生涯学習の推進		種別	任意的事務
	基本事業	自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供		市民協働	事業協力
予算科目コード		01-100401-25 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成24年度の市民提案型協働事業として採択され、北園森林公園の一角を借用し、子どもたちに自然の中での冒険遊びの重要性を地域に広げるために「守谷ひがし野プレイパーク」を市民団体が開設した。	地域の方々が中心となり、北園森林公園の一部を子どもの居場所として活用しながら、子どもの自主性や創造力をはぐくむ取組である。 また、市民提案型協働事業の観点から、市民が主導し、市が支援して実施する領域のため、双方の特性を生かして互いに目標や役割分担を取り決めて、一定期間継続的な関係のもとで事業に協力する。 【市民団体】プレイパークの企画・運営、運営資金の確保、運営組織の確立、地域との連携 【行政】活動場所の提供、活動のPR、情報提供、関係部署との調整
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
地域住民の交流のきっかけをつくり、子どもが心豊かにたくましく育つ遊び場を作り、みんなで子どもを見守り、子育てを楽しめるような地域の拠点を築く。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が、生涯学習に自発的に参加できるよう、学習できる機会・場の提供に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
北園森林公園において、年間で13回のプレイパークを開催した。	今年度で市民提案型事業が終了する中、他課から「ママが活躍する“まち”プロジェクト」に参加要請があり、プレイパークの周知を広く知ってもらいイベントが実施された。これを機に、今後も賛同を得られる仲間を増やし、市内各所の公園等でプレイパークが開催されることを期待する。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
プレイパーク開催数（回）	7.00	10.00	12.00	0.00	0.00
プリパーク参加者数（数）	314.00	365.00	650.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	日常の子育ての場として、気軽に遊びに来ることができるように、毎月定期的にプレイパークを開催し、参加する子ども達も増えつつある。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 □維持	□改善・効率化 □統合 ■廃止・終了	今後は常設化を視野に入れていることから、賛同・協力する仲間を増やし、人件費等も含めた資金面でも自主的に運営できるように努めてほしい。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		0	0	0	0	0